

新型コロナウイルス感染者の受入れ施設等に勤務する看護職の 「緊急メンタル電話相談」窓口の開設について

令和2年4月13日

兵庫県看護協会

会長 成田 康子

3月1日に兵庫県内で新型コロナウイルス感染患者が確認され、その後の感染拡大の中で、いくつかの医療機関や老健施設においてクラスターが発生し、医療現場は感染対応に加え、患者や周辺住民等からも厳しく責められたり周囲からの理不尽な風評被害を受けて看護職の皆様が疲弊しておられるとお聞きし、3月23日に緊急メンタル電話相談窓口を開設しました。

その後、さらに感染者が増加し、防護具等の確保もままならない中、いつ自分が感染するかもしれないという思いを持ちながら、看護職の皆様には、日々、患者さんのケアを献身的に行っていただいています。

未知のウイルスは、見えないこと、治療法が確立されていないことによる強い不安を駆り立て、ウイルスを連想させるものへの嫌悪感・差別・偏見を生み出し、人と人との連帯感や信頼感を破壊すること、そして、フロントラインのスタッフはその影響を最も強く受けると言われています。

新年度になり、新人を迎え、通常の業務対応のみでも非常に厳しい状況の中、現場の看護職の皆様のお気持ちがすこしでも軽くなるようにと願っています。是非、ご活用ください。

(1) 相談曜日と時間

月～土の19:00～21:00（とりあえず一報いただくと時間の調整は可能です。）

受けられなかった場合はコールバックさせていただきます。

(2) 電話番号

080-1460-7485

(3) 対応者

近澤 範子 氏（元兵庫県立大学 看護学部 精神看護学教授）

(4) 秘密保持

相談に当たって知り得た情報は、相談者の了解がある場合を除き、他には提供しません。ご安心ください。

【対応者 近澤先生からのメッセージ】

新型コロナウイルス感染拡大の脅威と生活・経済面の深刻な影響は収束・改善の見通しが持てず、不安が募るばかりですが、感染者を受けいれている医療機関の看護職・看護管理者の皆様のご心労ご負担の重さはお察しするに余りあるものと思います。おひとりで抱え込みがち辛いご心情をお聴かせいただくことを通して、少しでもお気持ちが軽くなり前向きな取り組みに繋がりますように願いつつ、お電話をお待ちいたします。